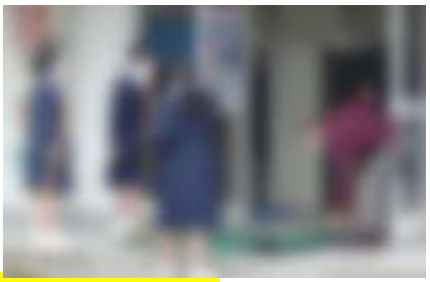
船穂中だより

校訓　「自主　自律　実践」

第１７号
令和３年１２月８日

凡事徹底



「無言清掃」，生徒・教職員ともに一生懸命取り組んでいます！

私がこの言葉と出会ったのは，カー用品イエローハットの創業者でもある鍵山秀三郎先生の「掃除」の取り組みをもとにして由加山で行ったトイレ掃除からです。本校の取り組み「無言清掃」もその一つと考えます。

生徒主体となって取り組んでいる「無言清掃」の流れやポイントは次のとおりです。「音楽とともに掃除場所へ移動する」，「集合時刻に遅れない」，「清掃の仕方を指導する時間をとる」，「黙って清掃する」，「清掃後，生徒同士で振り返りを行い，掃除を頑張っている生徒を称賛する」，「片付けをきちんとする」，「全職員の指導のもとに清掃指導をする」

誰にでもできる平凡なことを少しずつでも積み重ねていけば，平凡の中から非凡が生まれてくる。そのことが，いつかは人を感動させるものとなると鍵山さんの文章にもありました。「無言清掃」を目指し，生徒も教職員も一生懸命頑張っています。おかげで学校生活が気持ちの良い環境で過ごせています。保護者の皆様，お子様の学校生活の頑張りを聞いてほめてあげてくださいね。

朝読書

本校では毎朝，８時２５分からの１０分間，朝読書を行っています。朝読書は，語彙を増やす，自分の世界を広げる，よい文章に触れることで表現力をつけることを目的として行っています。

朝礼にて

間　寛平（地球１周アースマラソン）

人権週間の期間 12/7（火）朝礼で話をした内容を紹介します。

12/4（土）～12/10（金）は人権週間です。以前，言葉を大切にするという話をしました。「一つの言葉でけんかして」，「一つの言葉で仲直り」ということもあります。言葉は使い方一つでよいことも悪いことも運んできますので気を付けて使いましょう。

次は，お笑いタレントで大阪の吉本の芸人でもある間　寛平（はざま　かんぺい）さんのお話です。写真は，地球１周アースマラソンの帰路に川崎医科大学前付近で偶然出会い，通過時にハイタッチをした思い出の一枚です。その寛平さんは，「前進前心」という言葉が好きだそうです。不安や困難にぶつかっても前向きな心を持ち，前を向いて進んでいこうという意味です。そうはいっても落ち込むことは誰にでもあると思います。つらいときは，「つらい」と言う。困ったときは，「こんなことで困っているねん」と言う。どんどん口に出したら，聞いた相手が考えてくれる。人のことだからかえって一生懸命になってくれる。「自分の胸の内を隠さず，勇気を出して言おう」というメッセージでした。つらいときは，「つらい」と言う。困ったときは，「こんなことで困っている」と友だちや担任，学校の先生方に勇気を出して言いましょう。きっとよいアドバイスを出してくれますよ。